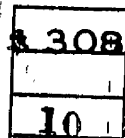


富遊紀勝

峽中行丁

兎

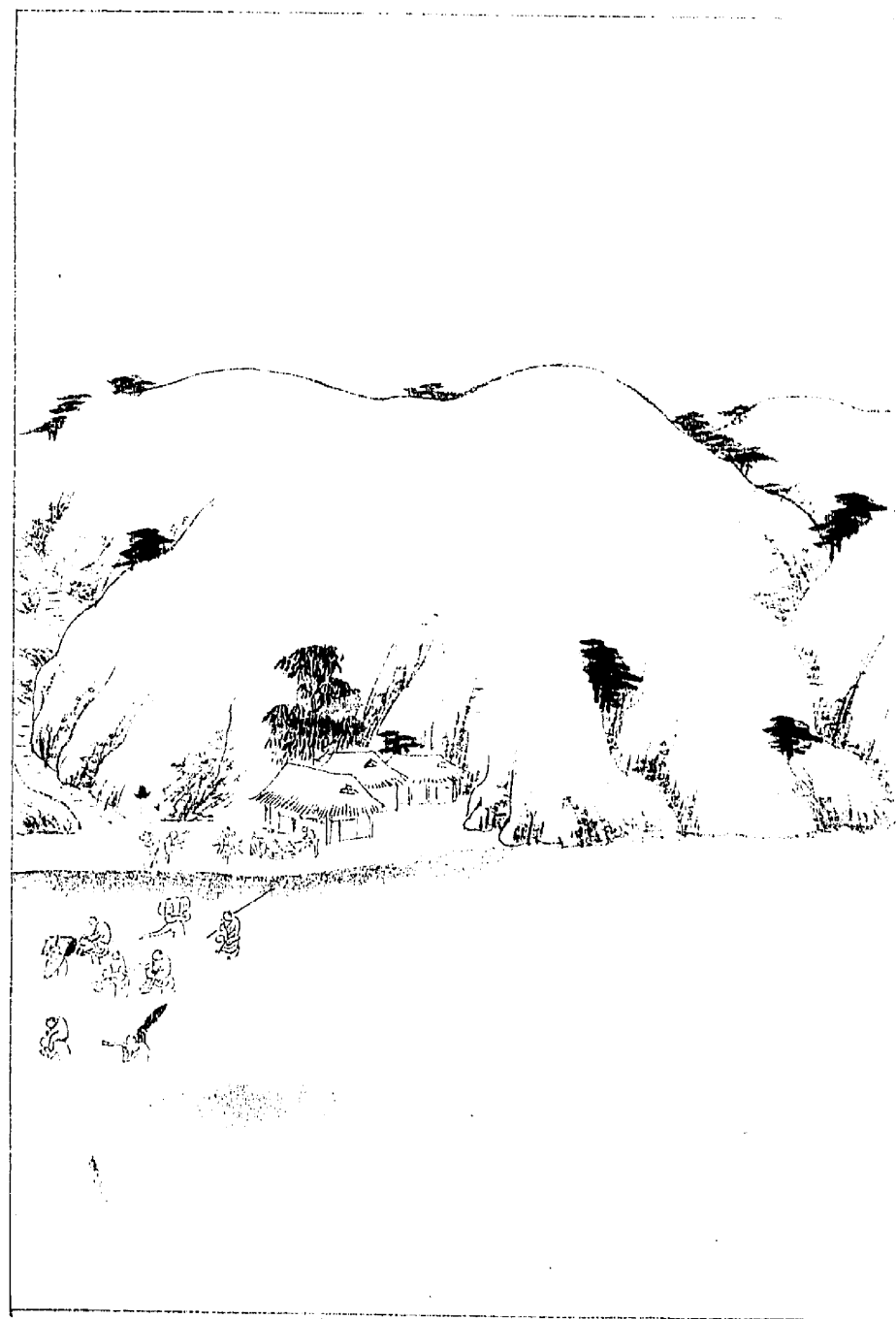
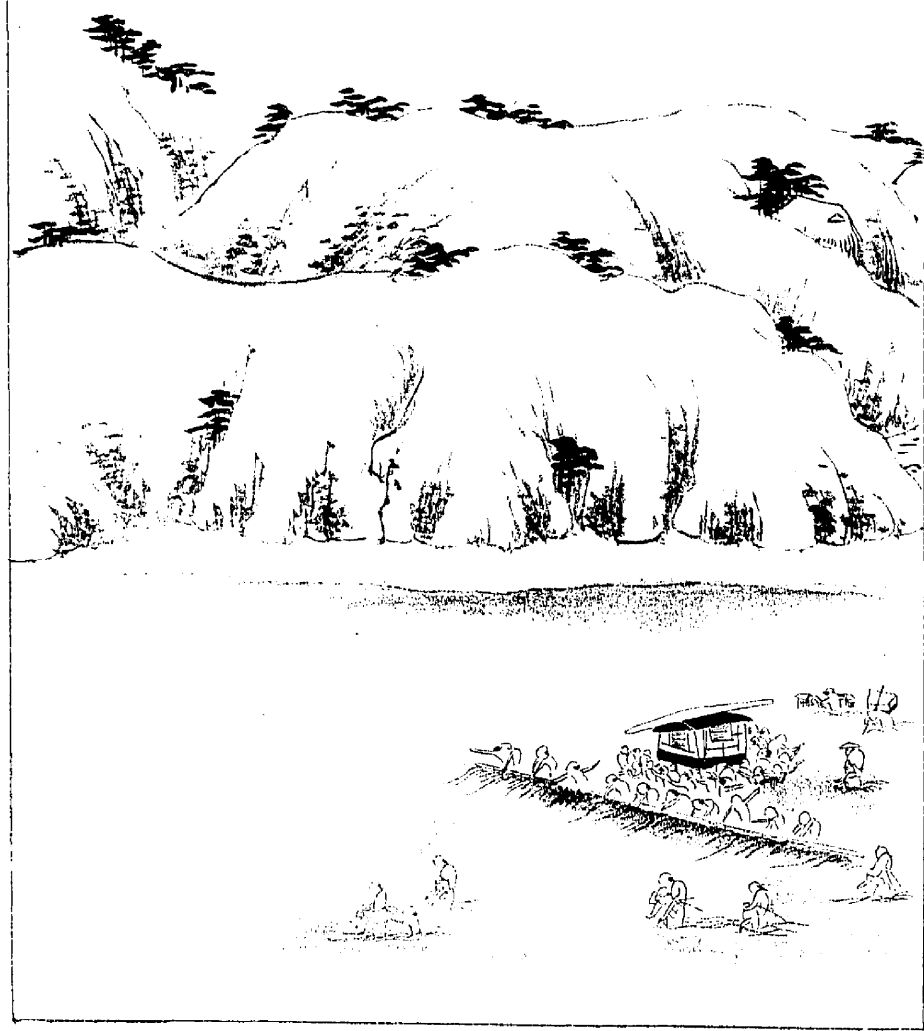


峽中行

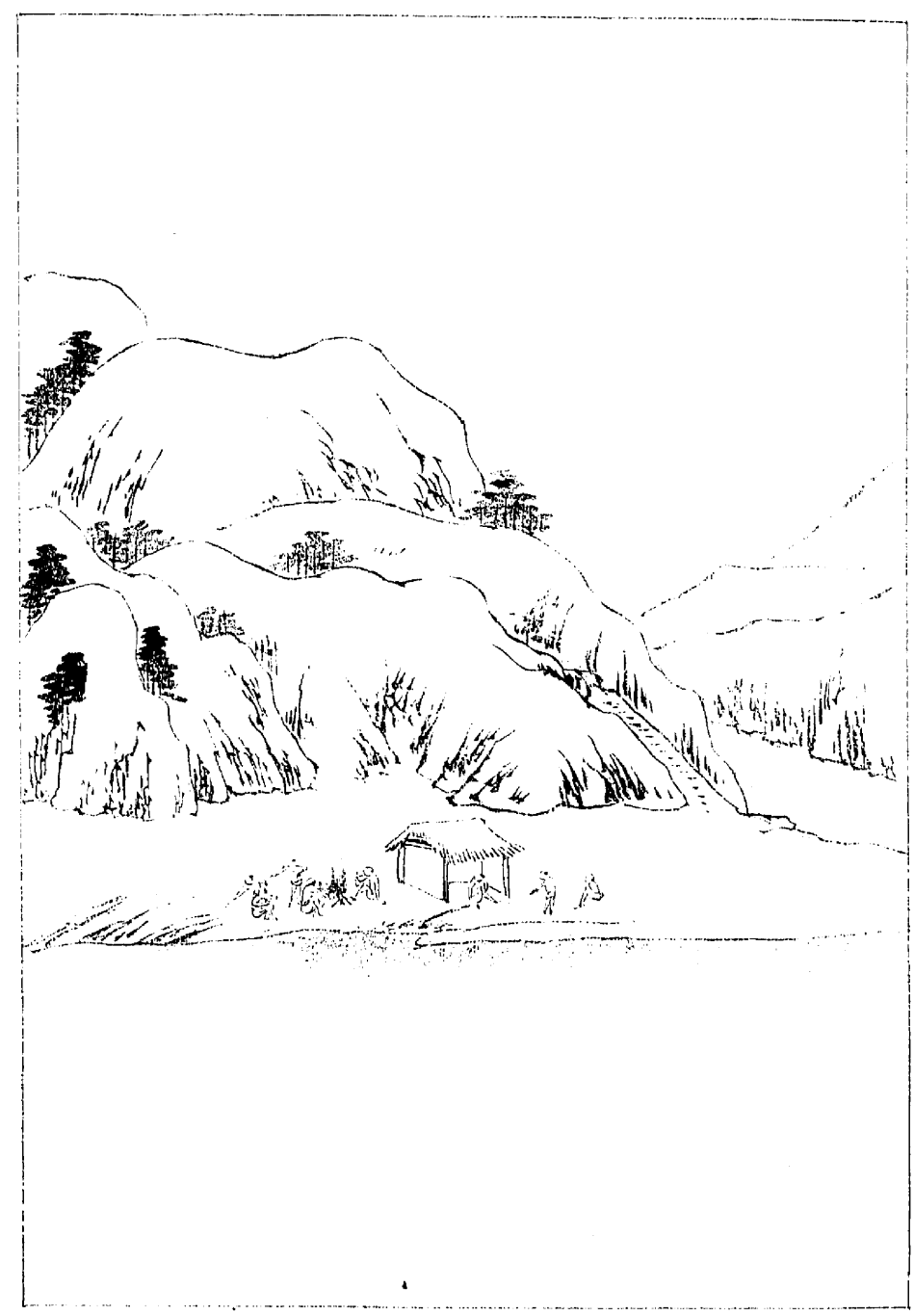
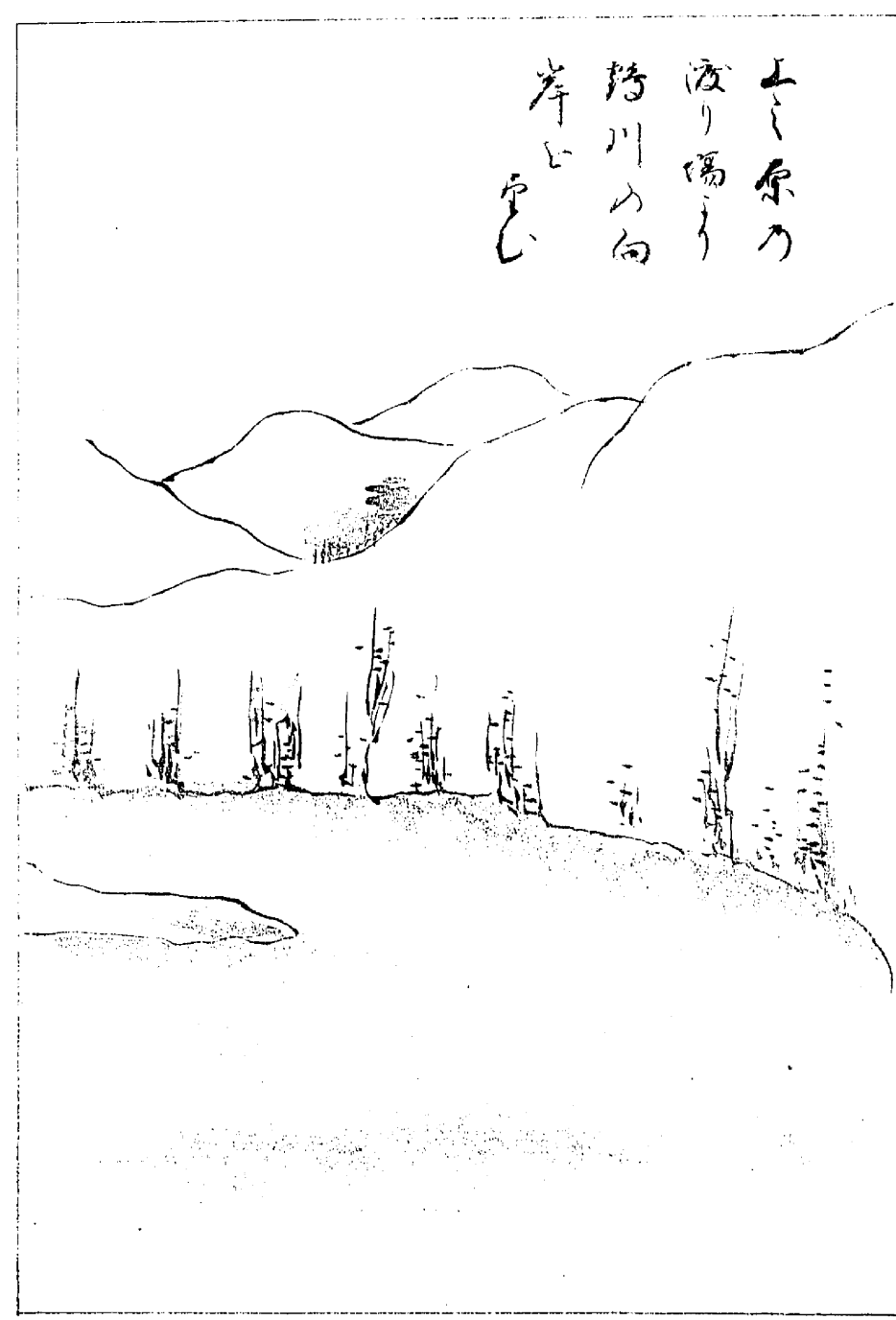
西園

九月二日上の原をより坂を下りて
二之折より川岸より川筋の山麓の
左ちより土川より水降も流る川原に
ハ丁といふ丁より人馬も通る
駕輿よりわけする人馬して人馬も通る

上の原と
 宿川渡りの
 系



ふく原乃
波り場
路川乃白
岸と
中



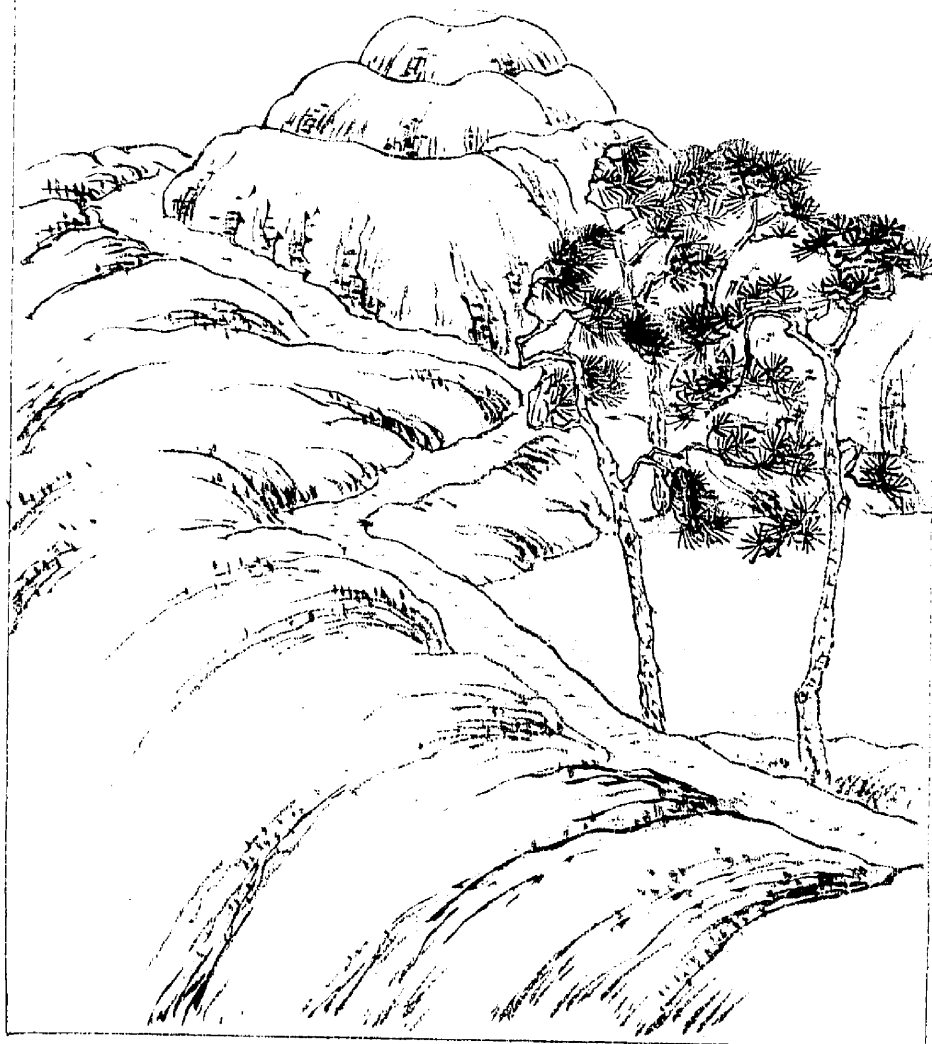
智興の前より多う流れて川中落る河の爲
をいへる路川と流る 房川布衣を一名和名
川といふ右のなり寺あり萬靈寺といふ天王
の祠あり石坂あり右とはかし山坂あり山王坂と
いふ小村落あり上の山といふやう長嶺の石
坂の多し又溪村あり又村本名なり右の
土里村の本山なり観音堂古妻河より

昔は坂より下るふしよき峯といふ濁池
といふあり池に水及汁の廣さなり水の水の
乾くやあり池の傍よりよく木あり上の
方形の塩の池といふ形あり武田氏の跡を
いふかゝ武田氏の盛なり河原に木を成
第よく繁木ありといふ天正年中か辰
丹はる築き岩といふ池の側より下り所田尻

長峯濁池



烽火臺



人刀取村式本松より
富士と云ふ

大乃村前衆山格
過村初見富士奇
瑞々白雪懸天半
擎得双松洞後姿

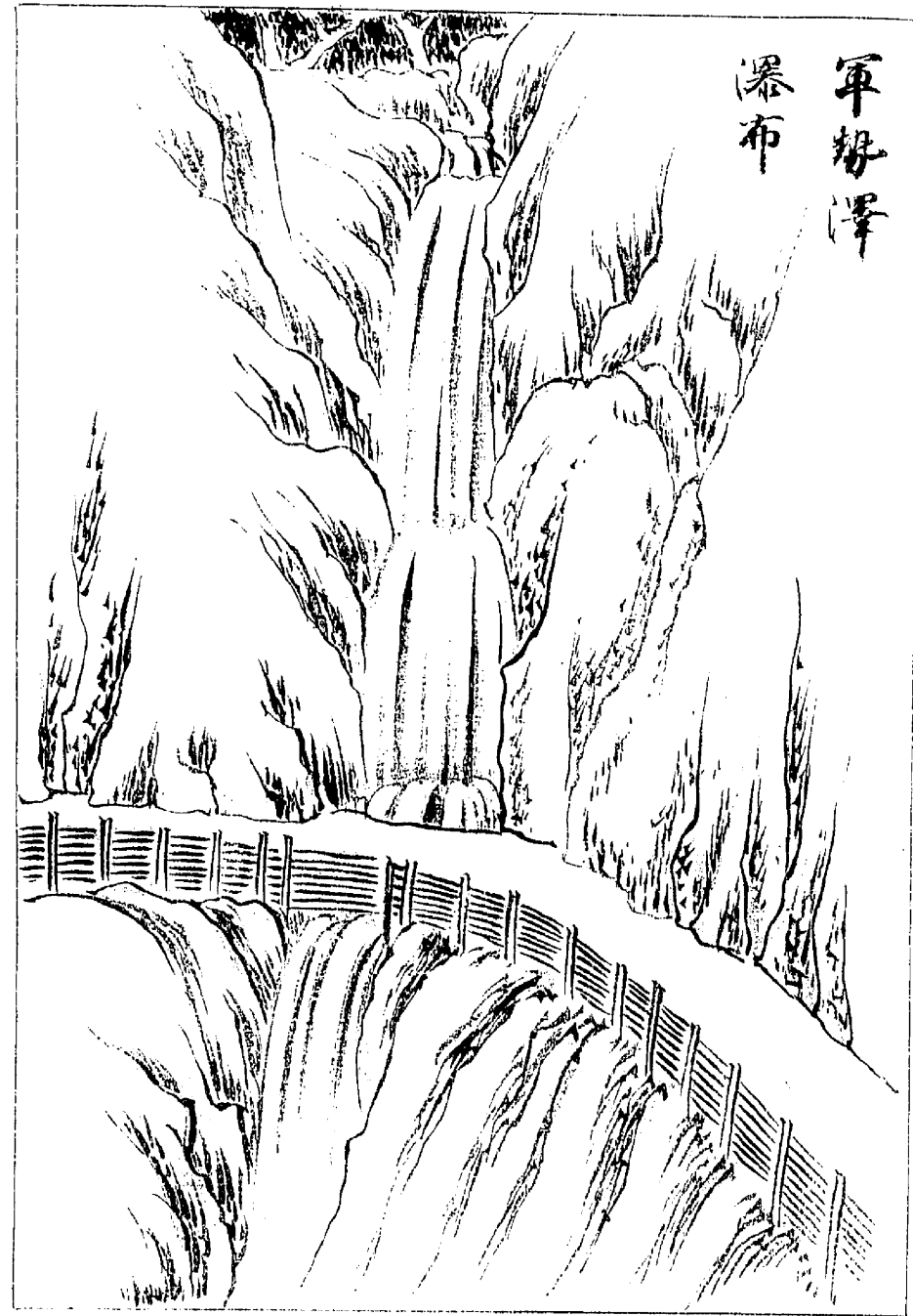


宿中火汚四神の言なり再興寺といふなり
坂道を通り大乃村中より二本松より封塔なり
又寺里家といふ所より富士山と云ふ富士山の
前中よりなる山なり富士山といふ山なり
下に富士山と村といふ所より大乃村より
山坂のき傍中なる所より大乃村より
上中本生所より上中五輪の塔なり

唐江ふくし
多前之岩



軍勢澤
瀑布



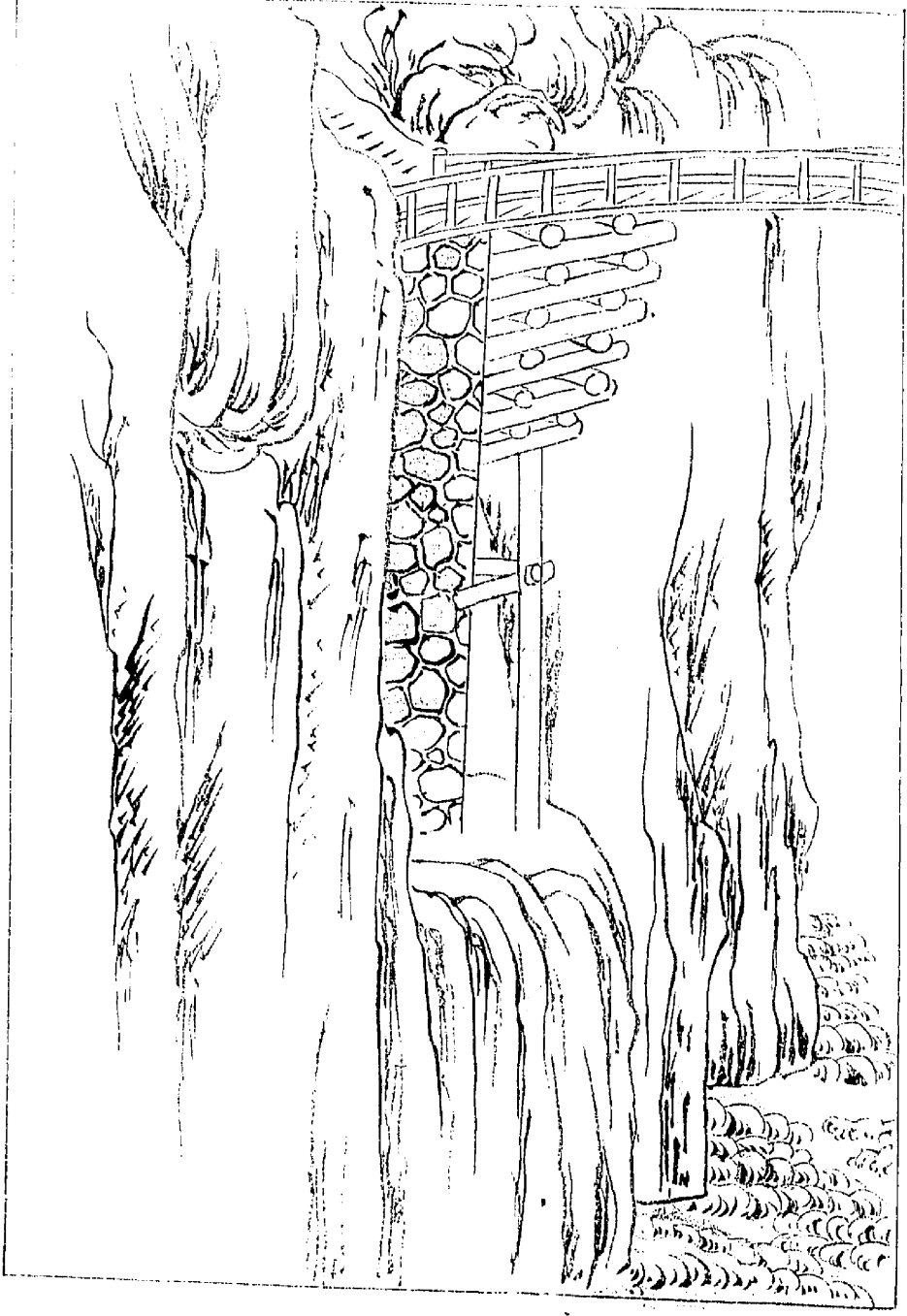
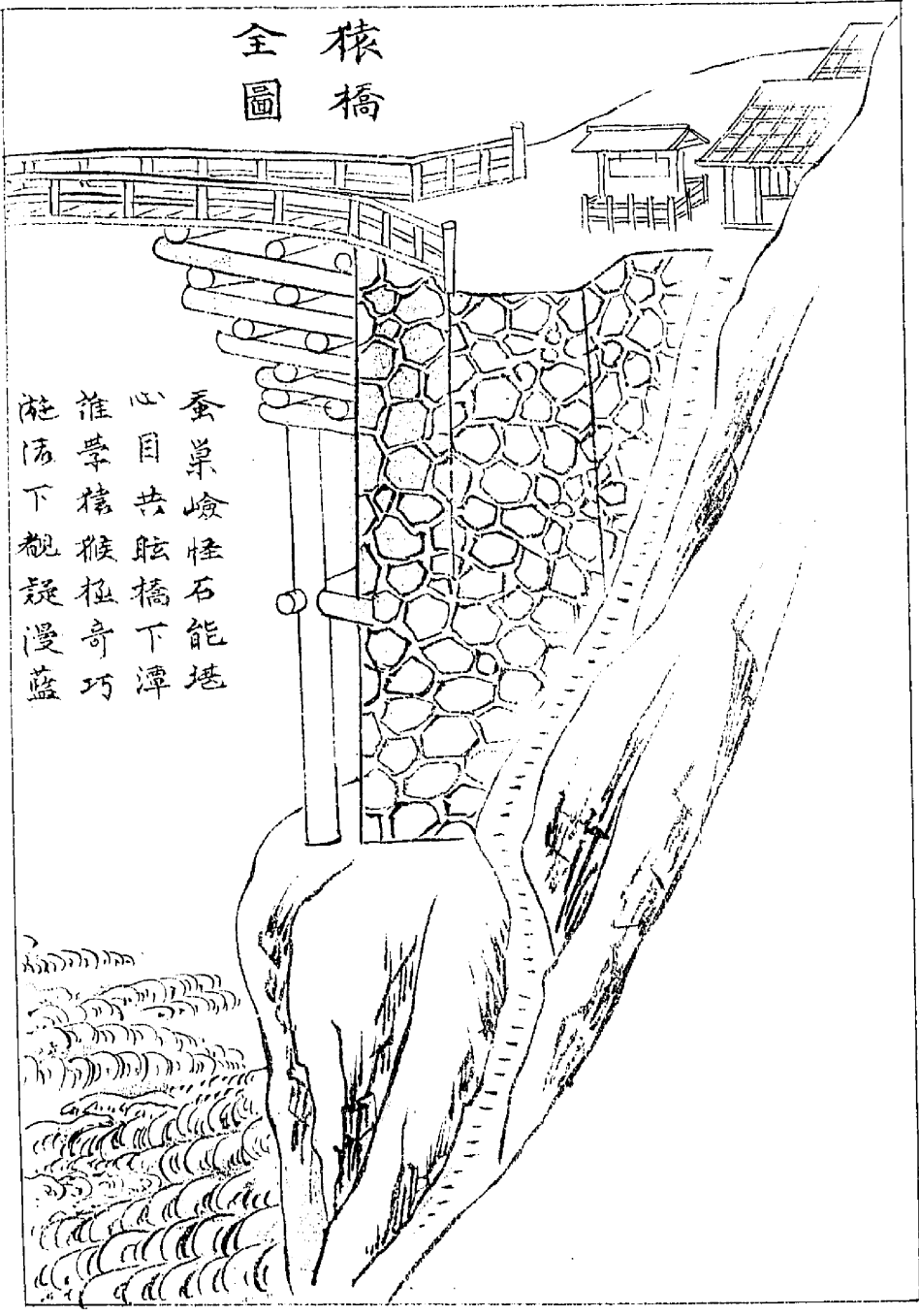


唐江も流るゝにや同軍陣の落とす龍
わうまふふさのたうも個干しりて積石の
やうに石山やう坂と長く暖るうて山は
軍陣の仕ありてゝ嶺をり新田村の
山も丹陽の現のふわりさの傍に石の傍わ
るゝ丹陽と軍陣との黒く人々大目布
大見の現のはありてさうもを萩とす車後

あそ萩に仙をうもをあらまきとていとは
まがゝるゝ君尾嶺とさうさしり村あり
鳥取村とて天神寺と茶店ありと傍のけ
小祠あり天神と茶と也とてあらん又茶店と軒
わうまふゝ尾をさしりて中野村とて飛澤
ありと山とやい倉岳とて山腹は椿木の木
りて女野木とて萩とてさうもを萩とす

猿橋
全圖

蜚巢嶮怪石能堪
心目共眩橋下潭
惟孽猿猴極奇巧
施法下觀疑漫藍



橋
の
京



殿上村

葉王山



大木大明神の宮あり石の山あり石を金
五料澤小坂より澤川の板橋を渡りすい
坂より桂川に下り小川の宿より又坂を
下り葉王山と云ふ山坂を登りて桂川の
崖より舟を漕ぎ下り水や急と云ふと云ふらん
急なるくはく鳴風郷の碑あり祖徳の峡中
紀行也と云ふ奇なりと云ふ事多し橋のきこ

橋より北に二十余尋兩岸より
積りけりなるに人々の音智慧
わきのまきと橋の本梢を何いに海を足
つ橋を修めたるに二兩岸の石も水底より
切れて海に落ちたるに海より海に
流るる十年に二減り陰翳の地あり橋より
市店も多しと云ふに人々の教上村に

戸所上村の修めたるに人々の教上村に
兩年とまきたるに川に流るる石も水底より
涌りて十年に二減り陰翳の地あり橋より
さへ積りたるに海に落ちたるに海より
なるに人々の音智慧わきのまきと橋の本
梢を何いに海を足つ橋を修めたるに二
兩岸の石も水底より切れて海に落ちたる
に海より海に流るる十年に二減り陰翳の
地あり橋より市店も多しと云ふに人々の
教上村に

兜の形も似たり常々山又桂川の山中
より来る人ありてさういふ鐘をわく月
黒くは桂尾村より約稿の宿八月の夜が宿
の後の山と菊たふといふ又輪山ともさふ
山の岩とさういふ菊の花の紋ありてわく人
歩いて来るいしむ山ありて鐘をわくは
うふ宿の半あり又約稿村の章報寺といふ

寺内にしりし八月の宿と出り八月桂川
にふか下桂川の宿とさういふ毎に川ありて
ゆくと上桂宿と流石とさういふ初宿の合
芭蕉歌あり又章報鳳簫の夢碑ありて
文に讀みしにいふと翁と姓く書ふか
寺名の早せうなるなり宿中に流流とあり
北陽と流とて繩を通うと通うと上初宿

岩殿山



高月之

兜石

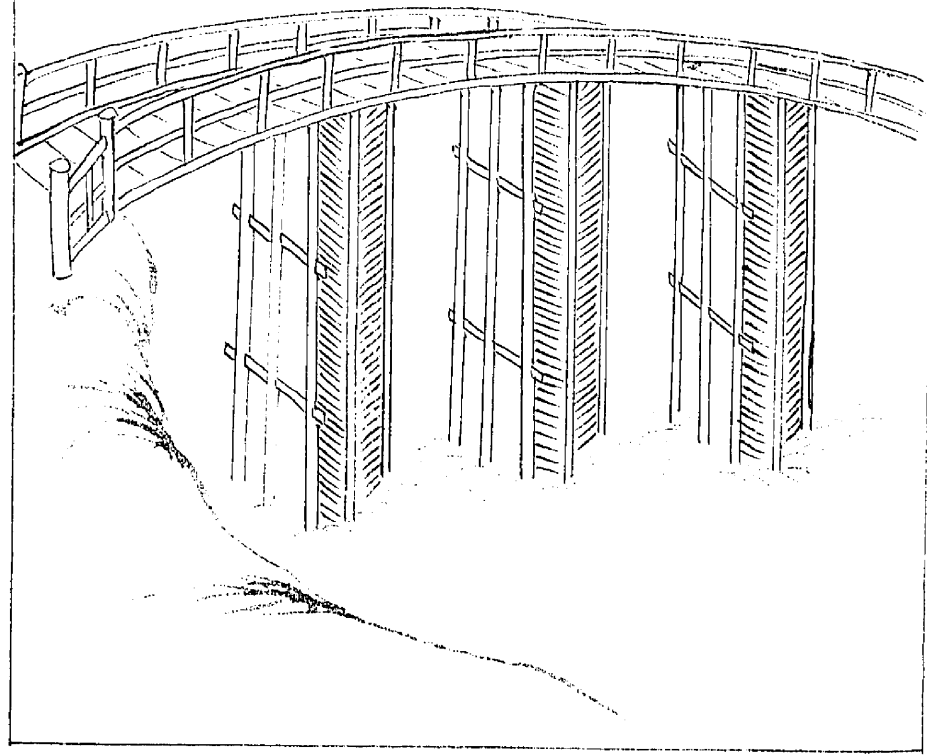
膏石



大月橋

猪脇川

上



大月川の
瀑布



源治坂



善川力
下流
水浅く
石多し



谷川ゆつゝ坂とよる山場をさぐりて
 主殿もそゝが主場茶をさぐりて
 のた杉の一本なり七抱半とて主
 杉といふ又傷を計りて坂をさぐりて
 主殿もそゝが主場茶をさぐりて
 主殿もそゝが主場茶をさぐりて
 主殿もそゝが主場茶をさぐりて

矢立杉



岳子峠
七曲

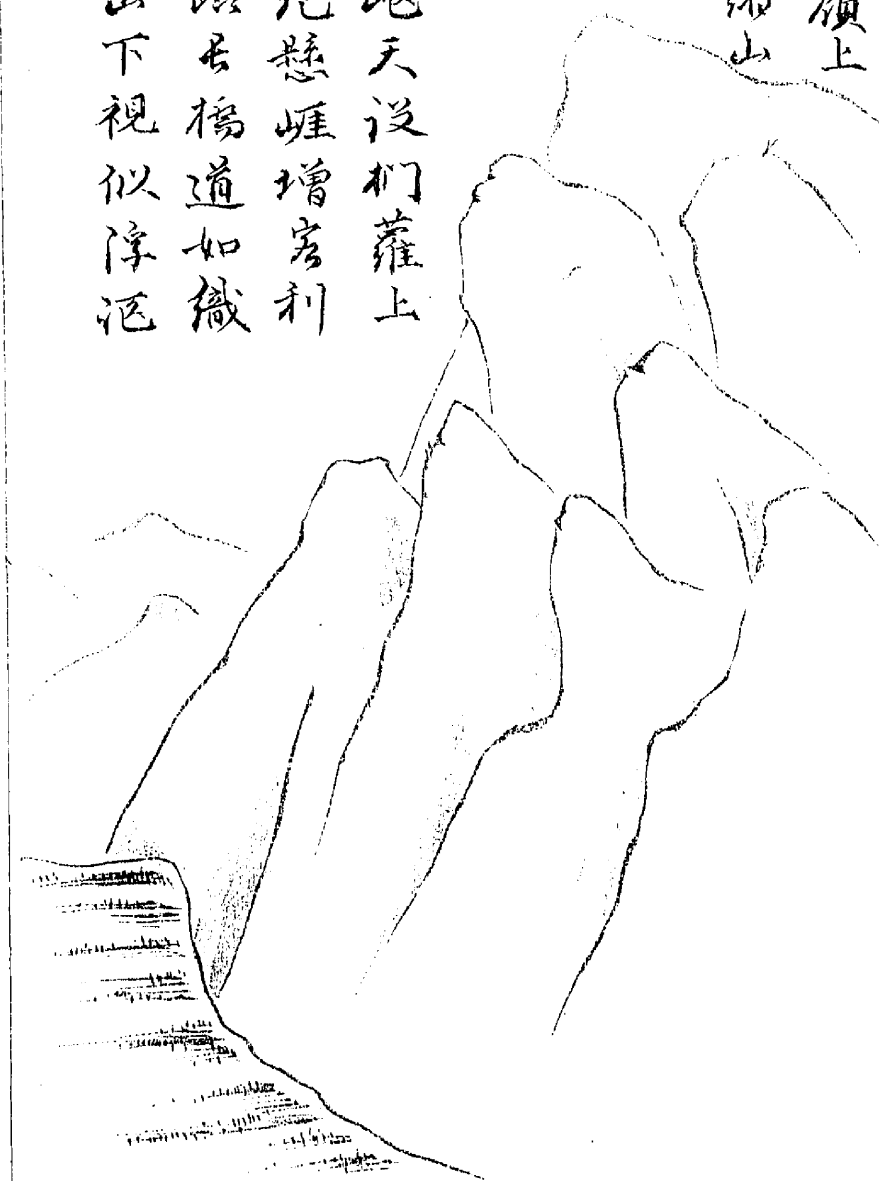


盤子嶺上

甲州諸山

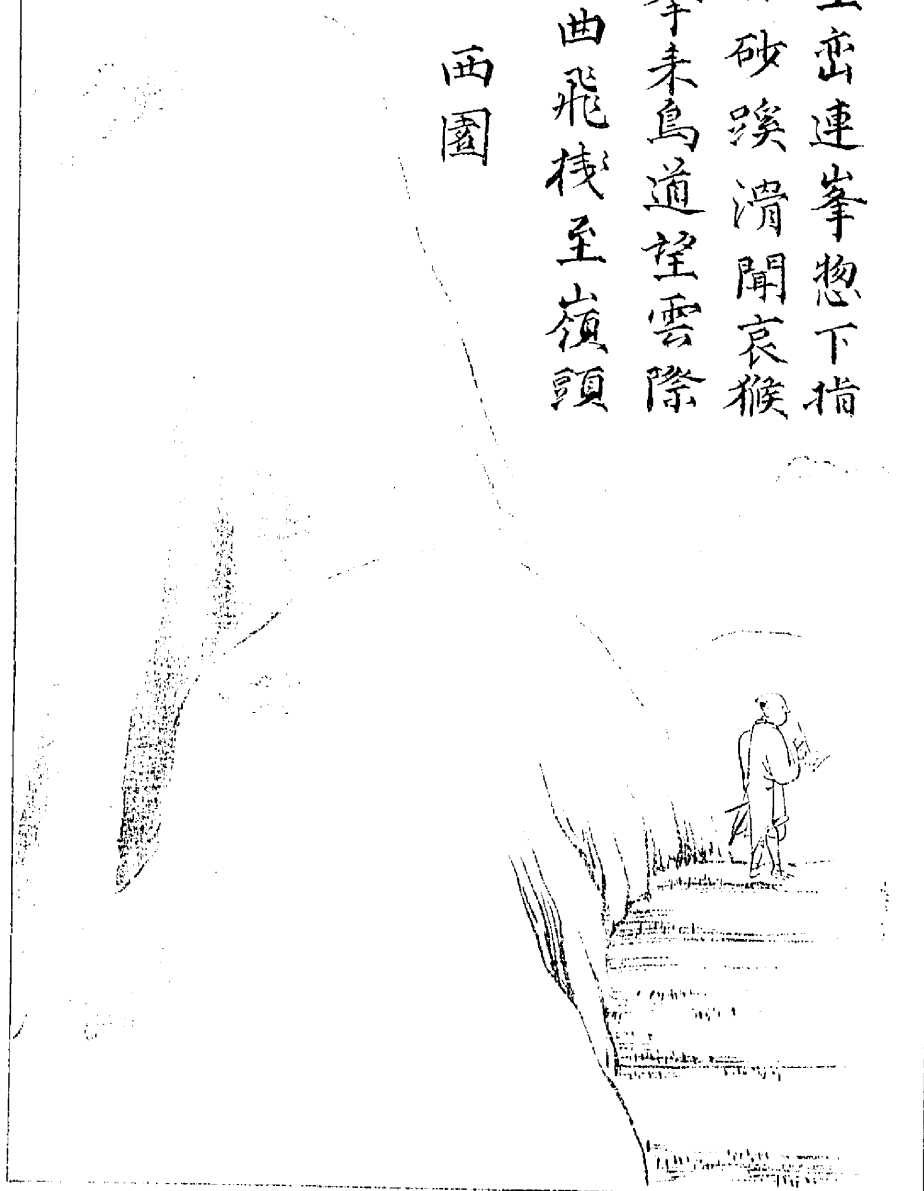
之字

崎岨天沒門蘿上
斗絕懸崖增客利
更躋長橋道如織
巖山下視似浮沔



重巖連峯惣下指
白砂溪滑聞哀猴
攀耒鳥道望雲際
七曲飛棧至嶺頭

西園



棧道乃

かけ
懐

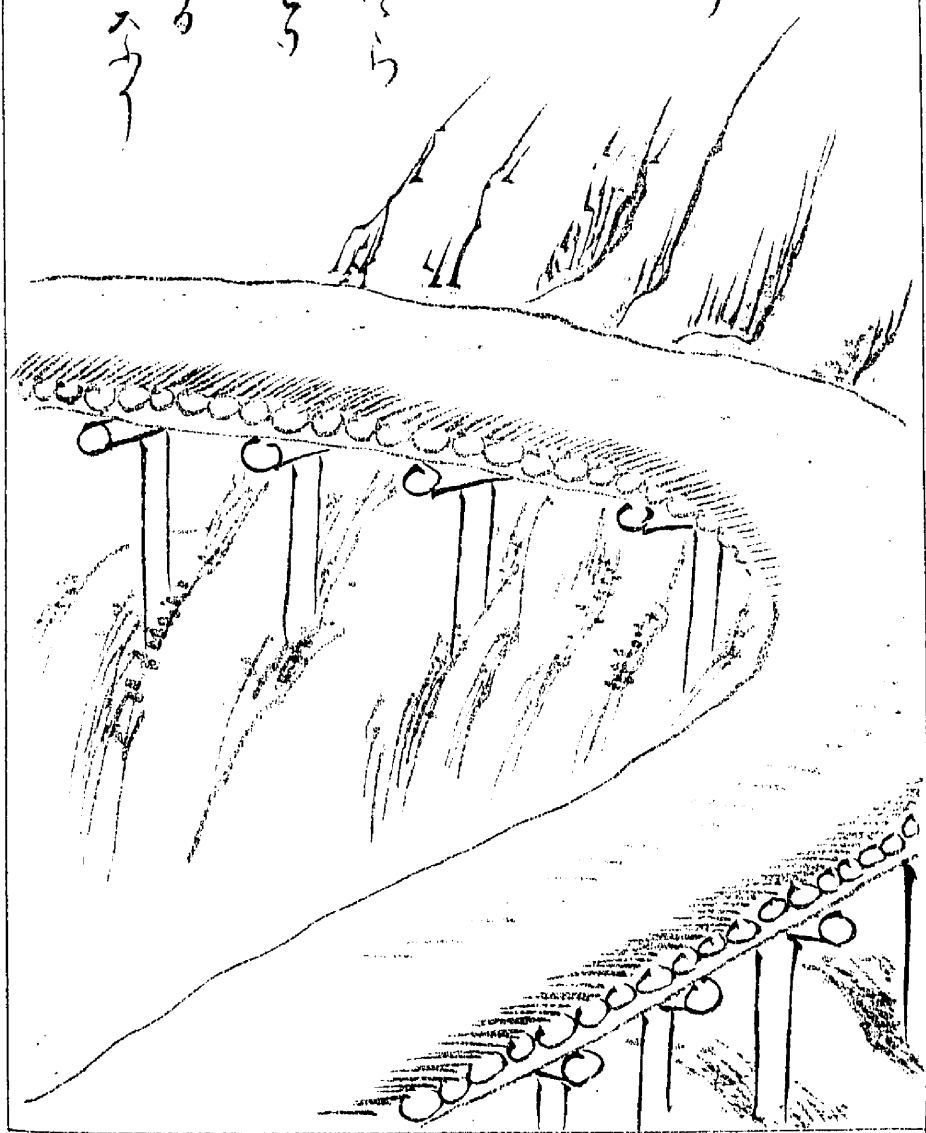
三

生くはら

知不足

かき

今



沙津島所、新名の案、つゝふ、出来、いた、た、の
 嶺、白浪の、まゝ、ふ、似、う、岩、上、う、法、山、と、中
 皆、目、下、に、あ、る、や、し、津、成、り、と、す、五、六
 丁、計、と、く、た、の、山、方、う、清、流、湧、出、は、あ、る
 是、の、内、成、り、と、く、流、の、橋、と、敷、く、海、う
 皆、方、と、坊、う、深、く、い、ふ、た、う、の、山、洞、う、し
 溪、川、流、れ、あ、く、ほ、い、た、右、の、溪、水、あ、い

合しを祈りたてまつて行く也
わら坂より坂を越ゆる初鹿野村を
予じしむに青き寺ありわ
勝れたる墓所ありわら坂の山を隔て
天目山ありわら坂の村ありわ
わら坂中にわら坂を越ゆる溪流ありわ
を逆川より坂を越ゆる又坂より

浅き山に似たりわら坂より
清川と隔ゆる山ありわら坂より
石骨稜より露きと壁を越ゆるわ
似ゆる山腹より道ありわら坂より
天目山の道ありわら坂より
わら坂よりわら坂を越ゆるわ
橋ありわら坂を越ゆるわら坂より





鶴瀨橋



西園

鶴瀨村頭鶴瀨

橋

清流洗石声

兩山千尺高如

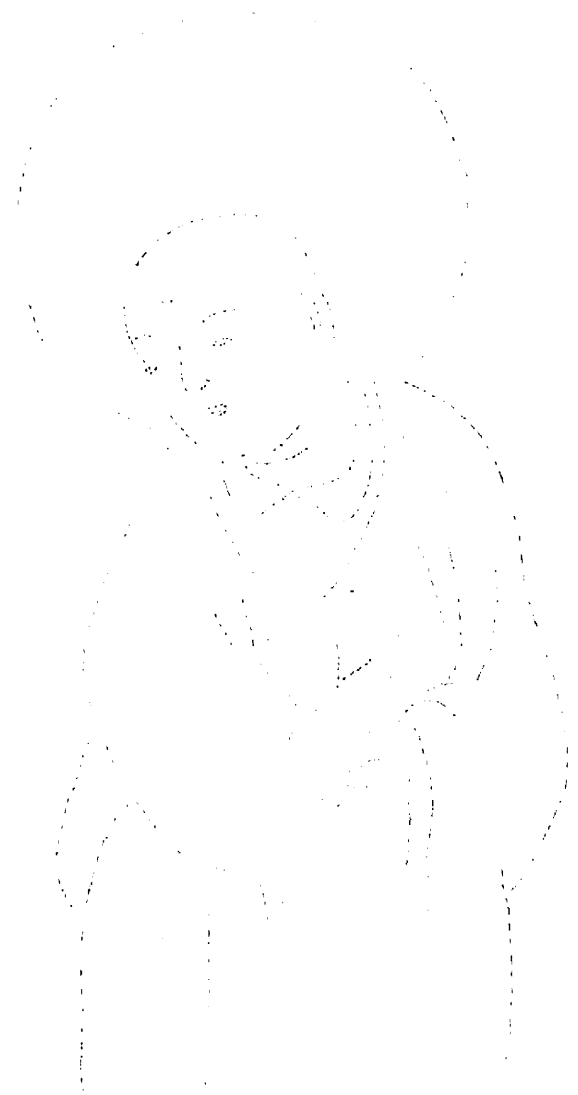
壁

真到劔峰揮碧

霍



石面之地藏



金岡地藏堂



觀音坂





拍子坂



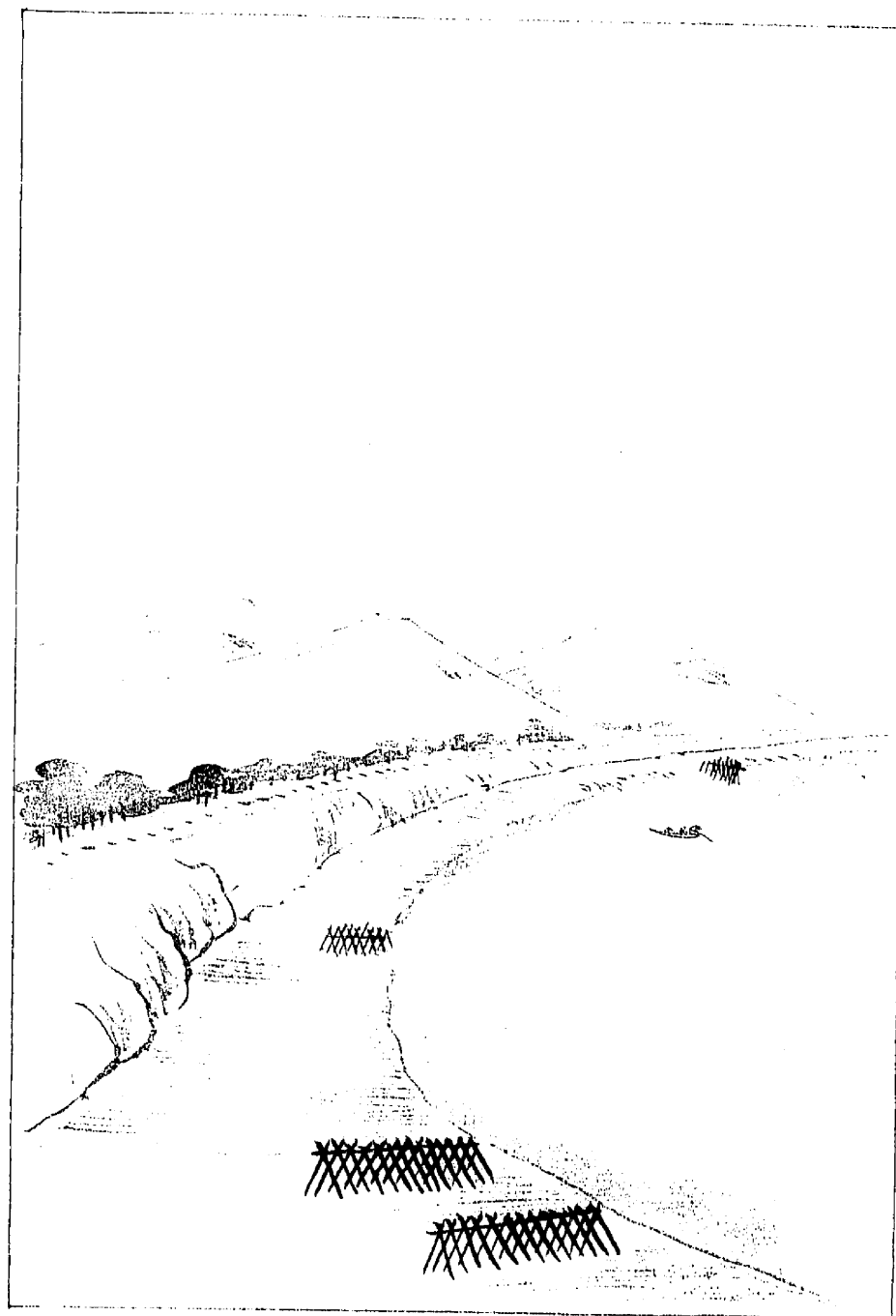
右石壁の山崖にくたう深き岩の崖下
の流るる川にふ溪を隔るる山を
金澤山といふやれり観音坂といふ
石山あり右乃山は親も山といふ横吹
村に龍あり小橋はさく又龍あり
此の溪よりくたう深き岩の溪川に
くたう橋あり橋を渡る傍の谷

下がく深きいふく深き切谷深き谷
山溪に深き山より山あり右松尾
山薬師如来あり仁王と云く下馬
れあり大寺あり岩橋ありくたう
橋橋の同じ形かけくたう橋ありく
くたうくたうくたうくたう田町あり
晴沼右の入口に法華寺あり長遠山あり

寺あり溪中に石碑あり從是休息
山道あり花と玉車轉村あり
田畠道なる碑あり杉所防道と
親鸞上人の舊跡あり杉の大本
あり杉の所防ともしと栗原右
左一宮道の標示あり村の入口白山
あり平田村あり宿田中村橋あり

日川橋といふ中流あり石を布き
入る山門あり額に新阿彌といふ華人
の書あり今といふにまゝの鵜飼
あり日蓮宗に新阿彌の出現日蓮の
法力に成佛ありといふ布きあり
橋といふ笛吹川の堤よりく渡と海
入河なり日川より日蓮の名ありといふ石あり

笛吹川



拾得。よめあり。さう川田村し。中ノ橋と
萬年橋し。ふね村。左。並。本。の。松。山。河
村。横。根。村。へ。江。折。村。あり。傍。あり。
日本武尊。舊。跡。あり。江。折。宮。し。ふ
善。光。寺。あり。又。寺。あり。信。州。の。善。光。寺
と。信。し。ふ。ふ。あり。板。垣。村。あり。府。内。の
入。江。中。ま。ま。あり。や。ま。つ。き。さ。う。志。守。を。所

橋。を。過。さ。く。江。花。川。綿。平。川。の
け。き。き。道。生。寺。町。へ。今。ま。町
八。日。町。れ。の。辻。を。幸。の。場。所。に。く。市
店。を。無。い。な。ふ。所。江。戸。の。板。と。あり
又。う。旅。店。の。並。り。る。所。を。折。所
と。い。ふ

余陪西園先生入甲陽其爲地
峻嶽層疊無所見而不奇者先
生有丘壑之癖行遭勝地則簪
筆以記焉隨觀隨圖綴以國字
遂爲二卷此乃紀行餘事雖奇
東野人之語拾而不遺何其書

哉已已晚秋旅亭燈下書其後

門人

源惟德謹記

